（別紙4（2））

事業所名　グループホーム　桜寿

作成日：　平成　26　年　4　月　21　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域行事の開催案内に応じ、会場に出向く等して動き出すといった状況がほとんどであり、こちらから地域に向けて、事業所に関する情報を発信していく力が乏しい。	より多くの方に桜寿を知ってもらい、敷居の高い特別な場所ではなく、池田地区の一員としての位置付けを確立していくと共に、気軽に足を運べる場所に変える。	・運営推進会議において、参加者と共にどういった情報発信方法が効果的かを検討し実行に移す。 ⇒何かの行事への参加依頼だけではなく、ここがどういった場所なのかを分かりやすく説明できる資料作成 ⇒待つことだけではなく、こちらから出向き、馴染みの関係作りにも努めてる	12ヶ月
2	35	災害対策において、通常の避難訓練・通報訓練等に対する計画は行えており、訓練というフレーズからもイメージする事は出来るが、あらゆる災害におけるケースを想定し、それらに対して何を準備すべきか、どのような材料を持ちあわせるべきかを検討する機会が少なく感じられる。	あらゆる災害のケースにおいての心構え、全てのケースにおいて必要な材料（基盤となる準備）、災害別に必要となってくる材料を整備し、事業所全体で共有。さらには地域との連携を円滑に図れるような体制を整える。	・災害別対策案を検討する機会を設ける ⇒スタッフによる想定訓練、運営推進会議においての情報収集や社会資源活用方法の検討 ⇒必要事項をリストアップ。必要物品の予算案および購入検討、必要書類作成、情報経路の整備、地域との連携方法協議	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。